

労働衛生管理促進へ

宮城労基協 熱中症予防セミナーも 古川支部総会

宮城労働基準協会古川支部は5月29日、2024年度総会を大崎市古川のグランド平成で開き、労働災害防止や労働衛生管理の促進に向けた各種取り組みを押し進めることを確認した。

本年度は▽安全衛生管理システム普及▽事業場ハトロール(3回)▽メンタルヘルス対策啓発▽大崎健康・体力づくり運動普及ーなどに取り組む。新たに「厚労省年収の壁・支援強化パッケージ」や熱中症予防対策についてのセミナーなどを開催する。

任期満了に伴う新役員は次の通り。(任期2年。※は新任。敬称略)
▽支部長 木田秀隆 (YKK AP東北製造所長) ※▽副支部長 安部誠 (東北電力ネ

む)が出席。4月に着任した木田秀隆支部長 (YKK AP東北製造所長)があいさつ。議事で前年度事業と収支決算を原案通り可決。本年度事業計画案や収支予算案、任期満了に伴う本部役員改選など5件が報告された。

北支店古川営業所長、菅原伸介(県建設業協会大崎支部長)、福原和夫(東北イノアック小生田工場長)



あいさつする木田支部長

86人(代理、委任含)

大友輝亨(日本通運仙)